

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 心房細動カテーテルアブレーションにおける高出力短時間通電の有用性に関する研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 奥村 恭男

<研究期間>

承認日 ~ 令和6 (西暦 2024) 年 3月 31日

<研究の目的と意義>

心房細動 (AF) に対するカテーテルアブレーションは、お薬による治療よりも洞調律を維持するために有効である有効性が確立し、一般的な治療法となってきました。肺静脈隔離術は (PVI) は、発作性心房細動に対する標準的な治療戦略です。近年、温度センサ付きイリゲーションカテーテルの登場により、肺静脈隔離術において高出力短時間通電の有効性が報告されており、術時間の短縮が可能となっておりますが一度の焼灼における gap (通電が十分は部位) の発生率についての情報は不十分です。また、本通電様式において、gap とその予測因子はあきらかになっていません。高出力短時間通電における gap の発生率とその予測因子を解明することが本研究の目的です。本研究結果をもって本通電様式による肺静脈隔離術の治療戦略を再考しより良い治療戦略を確立することが本研究の意義です。

*心房細動とは脳梗塞、心不全といった合併症を引き起こしうる不整脈です。

*カテーテルアブレーションとはカテーテルにより心筋を焼灼、または冷却することで不整脈を治療する方法の一つです。

*洞調律とは一定のリズムで心臓が動く正常の脈のことを指します。

*肺静脈とは肺で酸素を蓄えた血液が心臓に戻ってくる血管を指します。

*肺静脈隔離術とは肺静脈周囲の心筋に対して焼灼または冷却し肺静脈と心筋を電氣的に隔離することです。

*イリゲーションカテーテル:アブレーションカテーテルであり、心筋焼灼を実行するためのカテーテルです。先端周囲から生理食塩水を排出することにより急激な組織の温度上昇を防ぐことが可能となっております。

<利用する試料・情報の項目>

術前後の検査データ (血液検査、心電図、心臓超音波検査、ホルター心電図、CT 画像)、カテーテルアブレーション中のデータ (放射線透視量、手術時間、3次元マッピングシステムにより算出されるアブレーション情報、心内心電図)、術前後の診療記録。

<対象となる方>

西暦2022年12月1日から西暦2023年4月30日の期間に日本大学医学部附属板橋病院循環器内科で心房細動に対する電気生理学的検査及びカテーテルアブレーションを受けられた患者を対象とします。

<研究の方法>

研究対象者のアブレーション施行前後の患者情報及び上記の各種情報を、カルテを遡って収集、匿名化し、探索的に解析を行います。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1

循環器内科

氏名：平田 萌

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2410 (PHS) 8939